

放課後カフェにプロの味

国立市の市立国立第三中学校で、生徒会役員が行う放課後カフェ「マイハル」に協力するため、「スターバックスコーヒー」のスタッフが3日、同校を訪れた。生徒たちは本格的な味を楽しみ、役員はプロの接客術を教わった。



スターバックスコーヒー府中西府店の村山由佳店長（右端）と一緒に接客する生徒会役員ら（3日、国立市立国立第三中で）

国立の中学 スタバ店員が接客術伝授

マイハルは生徒会役員が運営し、保護者らがボランティアで手伝うカフェ。2024年6月に始まった当初は、放課後の勉強場所となるよう、定期試験直前の図書室を開放して行われた。ただ、それでは店員を務める役員は試験勉強ができないので、その後は試験終了後の図書室で毎学期3日ほど開催し、生徒たちの憩いの場になっている。

3日は、同校の近隣にある「スターバックスコーヒー府中西府店」の店長やスタッフが自社の「アイスコーヒーブレンド」50杯分を用意。役員とともに、客の生徒の名前をカップに書いたり、笑顔でコーヒーを提供したりしていた。

スタバ初体験だという3年の北沢誠一郎君（14）は「コーヒーは甘さもちょうどいい。計算されている感じ」と満足そう。接客を担当した生徒会副会長の3年門脇陽菜さん（14）は

「スタバの人たちは常に余裕があって笑顔で接客していた。いて勉強になった」と話し

スターバックスコーヒーと三中カフェマイハルがコラボ!

読売新聞に掲載されました